

塩田庄兵衛教授略歴・主要著作目録

略 歴

- 1921年 4月15日 高知県に生まれる
- 1941年 3月 大阪府立浪速高等学校文科乙類卒業
- 1943年 9月 東京帝国大学経済学経済学科卒業
- 1945年 9月 東京帝国大学大学院特別研究生修了
- 1945年10月 東京帝国大学経済学部世界経済研究室嘱託
- 1946年11月 東京大学社会科学研究所助手
- 1950年 6月 東京都立大学人文学部専任講師
- 1951年 4月 東京都立大学人文学部助教授
- 1962年 2月 東京都立大学法経学部教授
- 1966年 4月 東京都立大学経済学部教授 同学部長（2期）
- 1969年 4月～1970年 3月 イギリス、シェフィールド大学に留学(客員教授)
- 1973年 6月 東京都立大学名誉教授
- 1974年 4月 立命館大学経済学部教授
- 1978年・79年度 立命館大学経済学部長
 （その間、熊本大学、東北大学、北海道大学、広島大学、金沢大学講師を兼任）
- 1969年以降 日本学術会議第8，9，12期会員を歴任
- 1987年 3月 定年退職

学 会 活 動

社会政策学会幹事，労働運動史研究会会長，日本科学者会議代表幹事，世界科学者連盟執行評議員

国際学術会議出席のため、モスクワ、ストックホルム、北京、ベルリン、パリ、ロンドン、ブダペスト、プラハ、ベオグラードその他に出張

単 独 著 書

- | | | |
|-------------------|------------|----------------------|
| 『労働組合入門』 | 光文社 | 1961年5月, 1967年4月 改訂版 |
| 『戦後労働運動の歴史』 | 労働経済社 | 1963年10月 |
| 『日本労働運動の歴史』 | 労働旬報社 | 1964年9月, 1974年5月 新版 |
| 『弾圧の歴史』 | 労働旬報社 | 1965年9月 |
| 『現代労働組合運動論』 | 労働旬報社 | 1969年6月 |
| 『歴史の道しるべ』 | 新日本出版社 | 1973年4月 |
| 『未来に生きた人びと』 | 新日本出版社 | 1980年10月 |
| 『日本社会運動史』 | 岩波書店(岩波全書) | 1982年8月 |
| 『レッドページ』 | 新日本出版社 | 1984年7月 |
| 『実録 60年安保闘争』 | 新日本出版社 | 1986年6月 |
| 『戦後日本の社会運動』 | 労働旬報社 | 1986年9月 |
| 『京都にて——1974~1987』 | 自費出版 | 1987年3月 |

共 著 書

- | | | |
|---|--------|------------------------|
| 『製糸労働者の歴史』(梶西光速, 帯刀貞代, 古島敏雄, 小口賢三) | 岩波書店 | 1955年10月 |
| 『現代の労働問題』(大河内一男, 沼田稲次郎) | 労働旬報社 | 1967年6月 |
| 『80年代への検証——現代社会と労働問題を考える』(大河内一男, 沼田稲次郎) | 労働旬報社 | 1979年12月 |
| 『昭和史の瞬間(上・下)』(朝日ジャーナル編) | 朝日新聞社 | 1966年5月(上), 1966年7月(下) |
| 『戦後労働組合運動の歴史』(中林賢二郎, 田沼肇) | 新日本出版社 | 1970年6月 |
| 『歴史対談 近代の波濤と人物像』(「中江兆民と日本の近代」, 「中 | | |

- 江兆民から幸徳秋水へ』(高橋磯一, 他) 新日本出版社 1979年2月
『松川十五年 真実の勝利のために』(松川事件対策協議会, 松川
運動史編集委員会編) 労働旬報社 1964年8月
『松川運動全史』(松川事件対策協議会, 松川運動史編集委員会編)
労働旬報社 1965年12月

編 著 書

- 『幸徳秋水の日記と書簡』 未来社 1954年11月, 1970年6月 増補
『日本社会運動史年表』(渡部義通共編) 大月書店(国民文庫) 1956年9月
『日本社会主義文献解説』(細川嘉六監修, 渡部義通共編)
大月書店 1958年2月
『秘録・大逆事件(上・下)』(渡辺順三共編)
春秋社 1959年9月(上), 1959年10月(下)
『戦後日本の労働争議』(藤田若雄共編)
御茶の水書房 1963年4月, 1977年11月 改装版
『日本の労働問題』 河出書房 1964年2月
『祖国を敵として——在米日本人の反戦運動』(岡直樹, 藤原彰共
編) 明治文献 1965年6月
『ストライキの歴史』 新日本出版社(新日本新書) 1966年7月
『革命の道』筑摩書房(現代日本記録全集11)(荒畑寒村と対談
「革命家の群像」) 1969年4月
『労働問題講義』 青林書院新社 1971年10月, 1981年3月 改訂
『労働用語辞典』 東洋経済新報社 1972年11月
『労働用語辞典(第二版)』 東洋経済新報社 1980年4月
『日本社会運動人名辞典』(編集代表) 青木書店 1979年3月
『労働問題の今日的課題』(坂寄俊雄共編) 有斐閣 1979年8月
『河上肇「貧乏物語」の世界』 法律文化社 1984年1月
『河上肇「自叙伝」の世界』 法律文化社 1984年11月

- 『戦後史資料集』(長谷川正安, 藤原彰共編) 新日本出版社 1984年2月
- 『女性研究者——あゆみと展望』(猿橋勝子共編) ドメス出版 1985年7月
- 『基本的人権と労働者』(戸木田嘉久共編) 法律文化社 1985年10月
- 『このうえ地球をよごすなよ——環境と公害の話——』(塩田庄兵衛監修, 公害教育研究会編集) 日本標準 1971年12月
- [訳書]
- アレン・ハット著『イギリス労働運動史』 理論社 1956年3月
- W. Z. フォスター著『世界労働組合運動史』(橋川文三らと共訳) 大月書店 上巻 1957年1月
下巻 1957年3月
- マルクス/エンゲルス著『共産党宣言』 角川書店(角川文庫) 1959年12月

論 文

- 「幸徳秋水の思想的転化」 東京大学社会科学研究所『社会科学研究』2 白日書店 1948年4月
- 「幸徳秋水の社会主義思想——明治のマルクス主義——」
歴史学研究会編『近代日本の形成』 岩波書店 1953年6月
- 「平民社の人々」『日本人物史大系』第6巻 近代Ⅱ 朝倉書店 1960年3月
- 「明治社会主義の思想——幸徳秋水を中心に——」
木村武夫先生還暦記念『日本史の研究』 ミネルヴァ書房 1970年4月
- 「19世紀から20世紀へ——兆民と秋水——」
木下順二・江藤文夫編『中江兆民の世界——「三酔人経論問答」を読む』 筑摩書房 1977年12月
- 「中江兆民と幸徳秋水の世界」
山本大編『高知の研究』第5巻 近代編 清文堂 1982年7月
- 「府下最初の社会主義者——丹波の岩崎革也——」
京都市報社編『近代京都のあゆみ』 かもがわ出版 1986年5月
- 「奥宮健之覚書」 東京都立大学経済学会

- 『経済と経済学』第10・11合併号 1963年3月
- 「大逆事件——社会主義運動にたいする大弾圧」
- 『日本と世界の歴史』第20巻 学習研究社 1971年4月
- 「片山潜」松島栄一編『進歩と革命の思想——日本編』
- 新日本出版社 1978年4月
- 「足尾鉍毒問題ならびに田中正造に関する文献目録」
- 東京都立大学人文学会『人文学報』No. 20 1959年3月
- 「足尾銅山鉍毒事件 明治百年 農村10大事件」『地上』 1967年1月
- 「近代日本の争点 足尾鉍毒事件」『エコノミスト』 1967年10月10日
- 「足尾銅山鉍毒事件」『ジュリスト臨時増刊特集 公害』 1970年8月
- 「足尾鉍毒事件」公害教育研究会編集
- 『公害問題と教育』日本標準 1971年12月
- 「戦前の日本における労働組合」『講座 労働問題と労働法』第1
- 巻『労働組合の組織と運営』 弘文堂 1957年5月
- 「労働組合の政策と行動——政治活動」『講座 労働問題と労働法』
- 第1巻『労働組合の組織と運営』 弘文堂 1957年5月
- 「関東大震災と亀戸事件」『歴史評論』No. 158 1963年10月号
- 「1929—39年における日本の経済危機と労働運動」
- 『労働運動史研究』No. 19 1960年1月
- 歴史科学研究会編『歴史科学大系』第25巻『労働運動史』
- 校倉書房 1981年11月に再録
- 「昭和恐慌下の労働運動」『東京都立大学創立十周年記念論文集』
- 同 編集委員会 1960年3月
- 「労働争議の嵐——金融恐慌の波紋」『日本人の100年』第12巻
- 『大衆文化の華』 世界文化社 1973年1月
- 「京浜工業地帯における労働運動史」神奈川県立川崎図書館編集
- 発行『京浜工業地帯——通史編——』 1964年3月
- 「天皇制と労働運動——戦争と反動の20年が教えるもの」

- 『労働運動』 No. 245 1986年4月
- 「産業報国会はなにをしたか」『労働運動』 No. 246 1986年5月
- 東京大学社会科学研究所編『戦後労働組合の実態』
日本評論社 1950年3月に執筆
のち 大河内一男編『労働組合の生成と組織——戦後労働組合
の実態——』 東京大学出版会 1956年5月に再刊
- 「全織同盟論」 大河内一男編『日本労働組合論』 有斐閣 1954年6月
- 「労働組合と政治」 大河内一男編『日本の労働組合』
東洋経済新報社 1954年12月
- 「労働組合と政党の関係——原則と偏向」『社会主義講座』 第3巻
『革命と行動の社会主義』 河出書房 1956年6月
- 「労働運動の現代的課題——階級と国民——」『思想』 1957年8月
- 「国鉄労組新潟地本の第二組合問題」
『東京大学社会科学研究所創立十五周年記念論文集』 1963年3月
のち 有泉亨編『日本労使関係の研究』東京大学出版会に再録 1963年5月
- 「国鉄新潟争議」 前出『戦後日本の労働争議』所収
- 「労働運動史研究の成果と課題 ——運動史研究を志す人びとのた
めに」『労働運動史研究』 No. 38 1965年5月
- 「労働組合運動における政治・経済」
『講座現代日本とマルクス主義』 青木書店 1966年5月
- 「タクシー労働者の賃金と労働時間」
東京都立大学経済学会『経済と経済学』第13号 1963年3月
- 「企業合併と労働組合の組織問題 ——全金プリンス自工支部の分
裂——」『経済と経済学』第18, 19合併号 1967年2月
- 「『労働戦線統一』の社会的・経済的基盤——鉄鋼・電機産業を中
心に——」『経済と経済学』第29号 1971年3月
- 「戦後労働運動史の時期区分について」 社会政策学会年報第15号
『戦後労働運動の展開過程』 御茶の水書房 1968年4月

- 「戦後の労働争議——労働争議調査覚書——」 東京社会科学研究所調査報告第13集『戦後初期労働争議調査』 1971年3月
- 「労働組合と国民闘争——総評高野時代の経験から」『労働運動史研究』No. 61 1978年7月
- 前川嘉一・西村豁通編『労働運動の国民的課題』社会政策学会研究大会叢書 第1集 御茶の水書房 1979年4月に再録
- 「労働運動と協同組合運動」坂寄俊雄編『生活協同組合と現代社会』法律文化社 1978年11月
- 「戦後労働運動の30年——時期区分とその特徴点——」坂寄俊雄・塩田庄兵衛編『労働問題の今日的課題』有斐閣 1979年8月
- 「貧困・生活不安の解決にむけて」小倉襄二・真田是編『貧困・生活不安と社会保障』法律文化社 1979年12月
- 「レッドパージ」『立命館経済学』第29巻4号 1980年10月
- 「日本資本主義と女性」『講座 現代・女性の一生』第6巻『仕事・職場』岩波書店 1985年8月
- 「日本の社会運動と国際化——労働組合運動を中心に——」山口正之・菊井禮次編『現代日本社会の構造変化と国際化』『講座 現代日本社会の構造変化』第1巻 有斐閣 1986年1月
- 「“国際化”時代と日本の労働組合」『賃金と社会保障』No. 929 1986年1月上旬号
- 「資本主義社会の一般的危機について」歴史学研究会編『世界史の基本法則』歴研1949年度大会報告 岩波書店 1949年12月
- 「社会主義運動の発展」（新日本史講座）中央公論社 1951年12月
- 「マルクス主義運動とその理論」遠山茂樹・山崎正一・大井正編『近代日本思想史』第3巻 青木書店 1956年11月
- 「社会問題・労働問題」改訂新版『図説日本文化史大系』第13巻『現代』小学館 1968年3月
- 「日本社会党の歴史的 성격」『特集 社会民主主義の研究』

- 『経済評論』 1953年6月
- 「社会民主主義」（堀真琴と連名）『日本資本主義講座 戦後日本の政治と経済』第3巻 『経済機構と政治運動』 岩波書店 1953年11月
- 「戦後日本の社会民主主義の問題点」
- 季刊『マルクス・レーニン主義研究』第2号 青木書店 1954年5月
- 「安保反対闘争の歴史的意義」『労働運動史研究』No.23 1960年9月
- 「戦後日本の統一戦線運動」『立命館経済学』第35巻1号 1986年4月
- 「戦後日本の民主主義」日本科学者会議編『講座 現代人の科学』3巻『歴史における民衆運動』 大月書店 1975年8月
- 「戦後日本史の時期区分」第1回ソ学術シンポジウム報告集
- 『戦後日本の社会構造の変化（ソ連科学アカデミー／立命館大学）』 1980年6月
- 「世界平和運動」『講座・現代』第11巻 岩波書店 1963年11月
- 「松川事件当時の福島県下の労働運動」『歴史学研究』 1958年10月
- 「松川裁判闘争の15年」『労働法律旬報』No.524 1964年5月下旬号
- 「松川運動の歴史的意義と勝利の要因」前出『松川運動全史』所収
- 「メーデー事件裁判闘争史に寄せて」
- 「メーデー事件裁判闘争史」編集委員会編『メーデー事件裁判闘争史』 白石書店 1982年11月
- 「日本に於ける社会科学の発展」『社会科学講座Ⅱ』
- 『社会科学の諸系譜』 弘文堂 1950年11月
- 「社会青年の原型」『近代日本思想史講座』第4巻
- 『知識人の生成と役割』 筑摩書房 1959年9月
- 「大学の自治——京大・滝川事件——」
- 大河内一男先生還暦記念論文集第Ⅱ集『労働経済と労働運動』 有斐閣 1966年2月

書 評

- 岡義武著『近代日本の形成』 日本読書新聞 1947年10. 8
- E. H. ノーマン著『日本における近代国家の成立』
- 民科編『社会科学』11号 彰考書院 1948年1月
- 今村力三郎著『法廷五十年史』 専修大学新聞 1949年7月1日
- 赤松克麿著『日本社会運動史』、『図書』 岩波書店 1952年5月
- 岸本英太郎編・解説『明治社会運動思想』上, 下,
「明治社会主義史論」 青木書店『読書と生活』第二号 1955年7月
- 飯田鼎著『イギリス労働運動の生成』
- 『図書新聞』12号を有斐閣『書斎の窓』No.61 が再録 1958年11月
- 田中惣五郎著『幸徳秋水』 図書新聞 1955年11月19日
- 三一書房版『細井和喜蔵全集』(全4巻) 日本読書新聞 1956年4月16日
- 石川三四郎『わが非戦論史』 図書新聞 1956年10月6日
- 河上肇著『遠くでかすかに鐘が鳴る』 東京新聞 1958年2月3日
- 村田静子著『福田英子』 アカハタ 1959年5月16日
- 尾崎士郎著『大逆事件』 東京新聞夕刊 1959年8月31日
- ハインマン・カブリン編著『明治労働運動史の一齣』
- 図書新聞 1959年9月19日
- 尾崎士郎著『大逆事件』, 西尾陽太郎著『幸徳秋水』
- 『朝日ジャーナル』 1959年9月20日
- 絲屋寿雄著『大逆事件』, 神崎清著『革命伝説』 図書新聞 1960年3月19日
- 「『平民新聞論説集』の位置」『図書』 岩波書店 1961年1月
- 「名著——その人と時代 幸徳秋水『社会主義神髓』」
- 『エコノミスト』 1965年5月4日号
- 「名著——その人と時代 木下尚江『田中正造翁』『田中正造之生涯』」
- 『エコノミスト』 1965年8月31日号
- 「名著——その人と時代 市川正一『日本共産党闘争小史』」
- 『エコノミスト』 1966年2月1日号

青木虹二編『日本労働運動史年表 第一巻 明治大正編』

『日本歴史』

吉川弘文館 1969年1月号

岡本宏著『日本社会主義政党史序説』 『エコノミスト』 1969年2月25日号

野坂参三著『風雪のあゆみ(-)』

『文化評論』 1971年6月

内水護・村尾行一著『加害者としての国家』

『エコノミスト』 1971年8月31日号

馬原鉄男著『水平運動の歴史』

『部落問題研究』No. 37 1973年5月

河村望著『片山潜』

『文化評論』No. 154, 1974年5月号

東海林吉郎著『歴史よ人民のために歩め』・林竹二『田中正造』

『朝日ジャーナル』 1974年10月11日号

新藤東洋男著『筑豊の女坑夫たち』, 『部落』

1975年1月号

布施柑治著『布施辰治外伝——幸徳事件より松川事件まで』

東京新聞 1975年1月27日

上田耕一郎, 飯塚繁太郎著『現代危機と変革の理論』 『前衛』 1975年7月号

野坂参三著『平和と民主主義のたたかい』 東京大学新聞 1975年11月24日

『風雪のあゆみ』に寄せて——野坂さんの回想を読む——

『文化評論』 1976年1月号

谷口善太郎著『日本労働組合評議会史』

京都民報 1976年1月18日

不破哲三『科学的社会主義研究』

『文化評論』No. 185 1976年9月

青山霞村著『山本覚馬伝』

京都民報 1976年10月17日

『宮本頭治 公判記録』

『前衛』 1976年12月号

犬丸義一・中村新太郎著『物語 日本労働運動史』

『文化評論』No. 194 1977年6月

板野勝次著『嵐に耐えた歲月』

赤旗 1977年7月11日

平野義太郎著『自由民権運動とその発展』

『文化評論』No. 203 1978年3月

増島宏編『日本の統一戦線』上・下

『文化評論』No. 210 1978年10月

部落問題研究所編『戦後部落問題年表』

〈戦後部落問題の研究第1巻〉

『部落』 1979年1月号

- 小林勇著『戦後世界労働組合運動史』 『労働運動』 1979年5月号
 有田光雄著『住民自治と公務労働』 京都民報 1979年8月19日
 杉原四郎, 一海知義著『河上肇』 日中友好新聞 1979年12月9日
 荒堀広編著『新しいナショナルセンターの確立を』
 『労働運動』 1980年4月号
 不破哲三著『労働戦線に革新の旗を』 『経済』 1980年7月
 糸屋寿雄著『自由民権の先駆者』 赤旗 1981年11月2日
 杉原四郎, 一海知義著『河上肇——芸術と人生』 京都民報 1982年2月21日
 『大河内一男集』全8巻 社会政策学会年報 第26集
 「現代日本の賃金問題」 御茶の水書房 1982年5月
 守屋典郎『日本資本主義分析の巨匠たち』 赤旗 1982年3月15日
 糸屋寿雄『日本社会主義運動思想史』 赤旗 1982年5月17日
 野坂参三『風雪のあゆみ』(六) 赤旗 1982年5月31日
 法政大学大原社会問題研究所編『大阪労働学校史』
 『週刊読書人』 1982年6月14日
 犬丸義一著『日本共産党の創立』 『労働運動』 1983年4月号
 内山弘正著『富山県戦前社会運動史』 赤旗 1984年2月13日
 蔵原惟人著『歴史のなかの弁証法』 赤旗 1984年6月4日
 大塚一男著『松川弁護14年』, 後藤昌次郎著『裁判を闘う』——
 松川事件35周年にあたって 『エコノミスト』 1984年6月26日
 『長野県史 近代資料編第8巻(三) 社会運動・社会政策』
 信濃毎日 1984年11月26日
 関幸夫著『知識人論ノート』 『経済』 No. 249 1985年1月
 『私たちの瀧川事件』をよんで 『波』(新潮社) 1985年2月号
 有田光雄著『物語京都民主府政』 京都民報 1986年1月19日
 『獄中の昭和史——豊多摩刑務所——』社会運動史的に記録する
 会編 『旧縁乃会会報』復刊 No. 27, 1986年5月
 「丸山真男著『文明論之概略』を読む 上・中・下」

東京新聞 1986年12月15日
 「大原社会問題研究所編『社会・労働運動大年表』」 赤旗 1987年1月5日

解 説

- 木下順二『風浪』 角川文庫 1955年6月
 クロボトキン著、幸徳秋水訳『麵麩の略取』 岩波文庫 1960年4月
 『日本労働組合評議会史』について（谷口善太郎と対談）
 谷口善太郎『日本労働組合評議会史』 新日本出版社 1975年12月
 『12年の手紙』の時代
 宮本顕治・宮本百合子『12年の手紙』（下） 文春文庫 1976年3月
 市川正一著『獄中からの手紙』 新日本文庫 1976年6月
 松本清張さんの『社会評論集』によせて
 松本清張著『松本清張社会評論集』 新日本出版社 1976年8月
 のちに講談社文庫 1979年10月
 「文学と社会」（大野達三と対談）
 松本清張著『文学と社会——松本清張対談集』 新日本出版社 1977年6月
 カール・ヨネダ著『アメリカ・もうひとつの顔』 新日本出版社 1978年6月
 帯刀貞代『日本労働婦人問題』 ドメス出版 1980年7月
 『戦後労働運動論』をめぐる鼎談，（大河内一男，高橋汎，塩田庄
 兵衛）『大河内一男集』第5巻『戦後労働運動論』 労働旬報社 1981年5月

英 文

“The Labour Movement in Japan from 1929 to 1939 with
 Relation to the Economic Crisis.” and “Some Aspects of the
 History of the Labour Movement in Japan.” The Science
 Council of Japan Economic Series, No.25 February 1961
 “Fifteen Years of Struggle to win the Matsukawa Trial.”
 Paper Presented at the 1964 “Peking Symposium”

- Book Review: "Asian Revolutionary: The Life of Sen Katayama", by Hyman Kublin. Science & Society, Fall, 1963.
- "The Rice Riots and the Social Problems." The Developing Economies. December 1966,
The Institute of Asian Economic Affairs, Tokyo,
- "Public Hazards in Japan." Scientific World, Vol. 14, No.2. 1970
- "A 'Ravaged' People: The Koreans in World War II."
The Japan Interpreter, Vol.7, No.1. Winter 1971

仏文編書

- "Dictionnaire Biographique du Mouvement Ouvrier International le Japon."
(Tome 1, Tome 2.) Les Éditions Ouvrières (1978, 1979) Paris

国際会議報告など

- 北京科学シンポジウムと松川運動——中国・朝鮮の労働運動史研究にふれながら——『労働法律旬報』第545, 546号
1964年12月中・下旬合併号
- 「1964年北京科学シンポジウム 日本代表団報告書」
1964年北京科学シンポジウム日本連絡協議会 1965年1月
- 「(海外だより) イギリスの“スト規制法”とTUC臨時大会」
『労働農民運動』 1969年8月号
- 「(海外だより) ベトナムと統一の世界大会——第7回世界労組大会を傍聴して——」
『労働農民運動』 1970年1月号
- 「世界科連第42回執行評議会に出席して」
『日本の科学者』 1981年8月号
- 「世界科学者連盟第48回執行評議会」
『日本の科学者』 1985年6月号
- 「世界科連第50回ビューロー会議 —— 結成40周年の総会と国際フォーラムの成功を」
『日本の科学者』 1986年5月号
- 「世界科学者連盟国際フォーラム『科学・技術・平和』と総会に

- 出席して 『日本の科学者』 1986年10月
- 「世界科連第14回総会報告」 『日本の科学者』 1986年11月
- 「世界科学者連盟国際フォーラム『科学・技術・平和』と総会について」 『季刊 科学と思想』 第63号 1987年1月
- 「学問の頂点への攻撃——日本学術会議問題」
立命館大学新聞 1981年12月5日・15日合併号
- 「日本学術会議改革の問題点について」
『つうしん』（日本科学者会議・徳島支部） 1983年8月5日
- 「学術会議，推薦制で密室化——研究者大衆から疎遠になる恐れ」
朝日新聞（東京） 1985年6月26日
- 「密室化した推薦制学術会議」 朝日新聞（大阪） 1985年6月26日
- 「新しい日本学術会議に注目する」 赤旗 1985年1月18日
- 「研究室の婦人たち」 『図書』 1984年3月号